

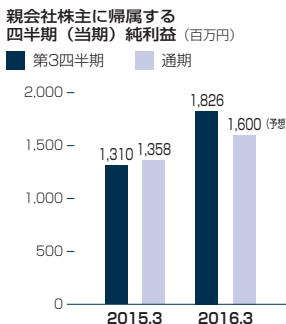
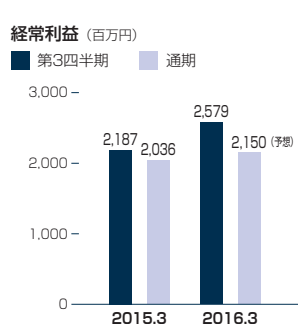
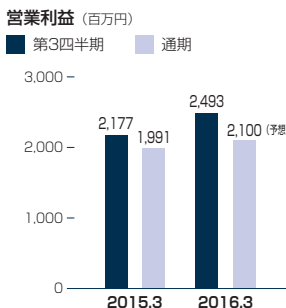
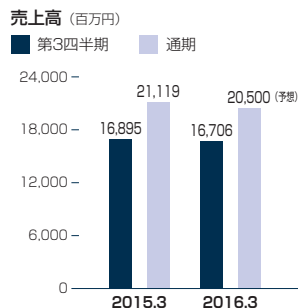


当第3四半期の連結業績

	(第3四半期実績)	(前年同期比)
売上高	16,706百万円	1.1%減
営業利益	2,493百万円	14.5%増
営業利益率	14.9%	2.0pt増
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,826百万円	39.4%増
1株当たり四半期純利益	60円98銭	19円32銭増

製品別売上高 (百万円)	(第3四半期実績)	(構成比)	(前年同期比)
上場会社 ディスクロージャー関連	7,558	45.2%	5.1%増
上場会社IR関連等	3,946	23.6%	20.5%減*
金融商品 ディスクロージャー関連	4,841	29.0%	10.3%増
データベース関連	360	2.2%	3.9%増

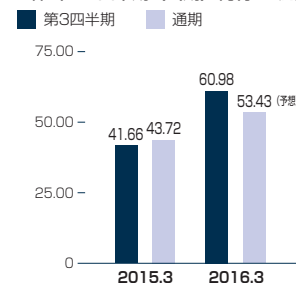
*a2mediaグループの持分法適用関連会社化に伴う減少です。



資産・負債の状況 (百万円)

流動資産	15,960	流動負債	3,669
固定資産	12,787	固定負債	2,846
資産合計	28,748	負債合計	6,515
		純資産合計	22,232
		負債純資産合計	28,748

1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



株主優待

毎年3月末日現在の株主様を対象に、保有年数*と所有株式数に応じてQUOカードを贈呈しております。

	1年未満	1年以上	3年以上
100株以上	500円	1,000円	1,500円
1,000株以上	1,000円	3,000円	5,000円

*「保有年数」は、同一の株主番号が株主名簿に継続して記載されている年数です。

株主通信 2016年3月期 第3四半期決算ご報告
(2015年4月1日~2015年12月31日)

株式会社プロネクサス 証券コード：7893
(東証一部)

株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先：〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

●本報告書は2015年9月末時点での株主の皆様にお送りしています。

まずこちらを

開く

濡れている場合は乾かしてから
はがしてください。

会社概要 (2015年12月31日現在)

商号	株式会社プロネクサス
創業	1930年12月15日
設立	1947年5月1日
資本金	30億5,865万500円
本社	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング
主な事業内容	ディスクロージャー・IR実務に係る総合的支援サービス
従業員数	962名(連結) 655名(単体)

主な事業所および工場

大阪支店	札幌営業所	名古屋営業所
広島営業所	福岡営業所	戸田工場

グループ会社 (連結子会社)

株式会社アスコミュニケーションズ 日本財務翻訳株式会社
台湾普羅納克廈斯股份有限公司(プロネクサス台湾)(他、持分法適用関連会社5社)

株式インフォメーション

■ 株式に関するお手続きについて

1. 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
郵送物等の発送と返戻に関するご照会	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711
支払期間経過後の配当金に関するご照会		
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	上記以外のお手続き、ご照会等 口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	

2. 特別口座に記録された株主様の株式に関する各種お手続きに関しましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記へお問い合わせください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

お問い合わせ先 ☎ 0120-232-711

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

■ 株主優待・IR/財務情報に関するお問い合わせはこちらへ

株式会社プロネクサス 社長室 03-5777-3145

メールアドレス asp@pronexus.co.jp

注記事項 ※本報告書は、2016年1月29日発表の2016年3月期第3四半期決算短信の数値、文章を基に作成しています。その後公表される可能性がある訂正情報、業績予想の修正情報や決算の詳細につきましては、当社ホームページにてご確認ください。

株主の皆様へ



既存事業の深耕、
新規事業の拡大を通じて
成長を目指します。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第3四半期(4-12月の四半期連結累計期間)は、証券市場におい

郵
便
は
が
き

て引き続きファイナンスや金融商品の販売量が増加し、また、コーポレートガバナンス・コードの制定に伴って、対応する製品の売上が増加しました。一方、第1四半期連結会計期間より、a2mediaグループを連結子会社から持分法適用関連会社に変更したことにより、同社グループの外部売上高が含まれていた上場会社IR関連等の売上高が減少しました。この結果、当第3四半期の連結売上高は、16,706百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

利益面では、金融庁への開示書類作成システム「EDINET」のバージョンアップに対応するシステム関連コストのうち、一過性の初期コスト負担がなくなったこと、連結範囲の変更によりa2mediaグループ関連コストが除外されたことを主因として、売上原価率が改善しました。これらの売上原価の減少が営業体制強化等による販管費増加を上回り、営業利益は2,493百万円(前年同期比14.5%増)となりました。経常利益は2,579百万円(同18.0%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,826百万円(同39.4%増)となりました。

当社は、既存ビジネスの強化・深耕に加え、新規ビジネスによる事業領域の拡張を積極的に推進しています。当社のDNAである環境変化への素早い対応力と高度な専門性を基盤として、M&A等による外部リソースも活用しながら成長を目指します。

株主の皆様には、変わらぬご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

2016年2月 代表取締役社長 上野 剛史

製品別の概況

<上場会社ディスクロージャー関連>

招集通知のカラー化の進展や、証券市場の活況を背景にファイナンス・IPO件数が増加したこと等により、売上高は7,558百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

<上場会社IR関連等>

コーポレートガバナンス・コードの制定を背景に、英文IR(翻訳)サービスや、IRサイト構築・株主総会のビジュアル化等の受注が増加しましたが、a2mediaグループの外部売上高が除外されたことが増収分を大きく上回り、売上高は3,946百万円(前年同期比20.5%減)となりました。

<金融商品ディスクロージャー関連>

投資信託市場の活況により、目論見書や各種販売用資料、Webサービス等の受注が増大し、J-REIT市場も引き続き堅調に推移した結果、売上高は4,841百万円(前年同期比10.3%増)となりました。

<データベース関連>

既存顧客の契約更新が好調に推移し新規受注も寄与した結果、売上高は360百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

配当方針・自己株式について

1. 配当方針

連結配当性向「30%以上」を基準として、安定配当をベースに業績、経営環境等を総合的に加味した配当を継続してまいります。

実績・予想	年間配当金(円 銭)			配当性向 (%)	純資産配当率 (%)
	第2四半期末	期末	合計		
2015年3月期	9.00	9.00	18.00	41.2	2.6
2016年3月期(予想)	12.00 (内3円記念配当)	9.00	21.00	39.3	

2. 自己株式について

■2014年5月~2014年11月の間で約250万株を取得し、2015年5月に288万株消却。

■2015年12月末時点の発行済株式総数は33,444千株、うち3,500千株(10.5%)が自己株式となっております。

■2016年1月29日付で、100万株、10億円を上限とする自己株式の取得を決定しました(2016年2月1日~5月31日)。